

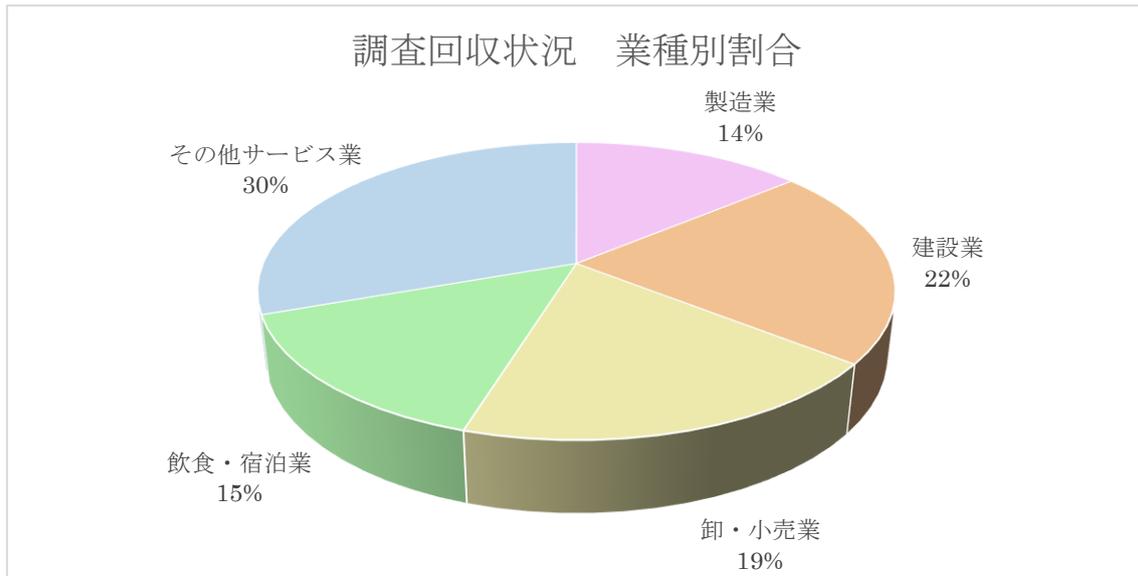
千歳市景気動向調査結果

調査期間：2023年4月～6月の実績と2023年7月～9月の見通しについて調査

調査方法：調査票を送付し、FAXまたはWEBにて回収

調査企業：千歳商工会議所会員（特別会員を除く）と特定商工業者約1,300社に依頼

回収状況：115社（約8.8%）



DI（景気動向指数：ディフュージョン・インデックス）とは

増加・上昇・好転の企業割合から減少・降下・悪化の企業割合を差し引いた値のことです。

この数字がプラスかマイナスか、また、その大きさにより景気の動きを時期的な推移の中で把握します。

景気が「良い」の中には、「良いけど悪くなりつつある」などの考えも含まれるため、**業況判断DIは、景気の方角性を表すもの**です。

数値が上昇していれば、良い景況感（景気が良いと感じる企業の割合が増えたこと）を意味します。

本調査では前期（2023年1～3月）と比較した今期（2023年4～6月）の実績及び、今期（2023年4～6月）と比較した来期（2023年7～9月）の予測を掲載しています。

《 全体の景気動向 》

【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (1～3月)		今期実績 (4～6月)		来期予測 (7～9月)
業況	▲12.7	↑	12.2	↓	3.5
売上	▲17.6	↑	9.6	→	11.3
採算	▲27.5	↑	▲13.9	→	▲9.6
原材料	▲74.5	↓	▲80.9	↑	▲69.6
資金繰り	▲4.9	→	▲3.5	→	▲6.1
労働時間	1.0	→	5.2	→	7.8
雇用状況	26.5	↑	35.7	→	33.9

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印（↑・↓）で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印（→）で表示

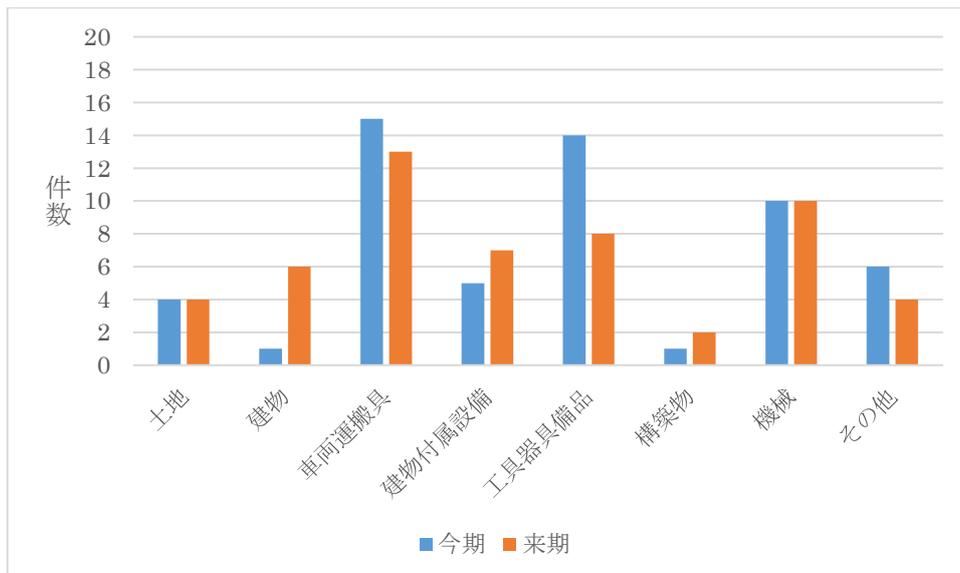
【設備投資調査】

前期（1～3月）設備投資をした企業は43.1%

今期（4～6月）設備投資をした企業は48.7%

来期（7～9月）設備投資を計画している企業は47.0%

設備投資をした（する）企業のうち投資内容は以下の通り。



《 製造業の景気動向 》

【主要 DI 調査】

主要 DI	前期実績 (1～3月)		今期実績 (4～6月)		来期予測 (7～9月)
業 況	▲26.1	↑	43.8	↓	0.0
売 上	▲34.8	↑	37.5	↓	6.3
採 算	▲30.4	↑	25.0	↓	▲6.3
原 材 料	▲91.3	↑	▲75.0	↑	▲56.3
資金繰り	4.3	↑	18.8	↓	▲6.3
労働時間	▲4.3	↑	25.0	↓	12.5
雇用状況	39.1	↑	50.0	↓	43.8

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印（↑・↓）で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印（→）で表示

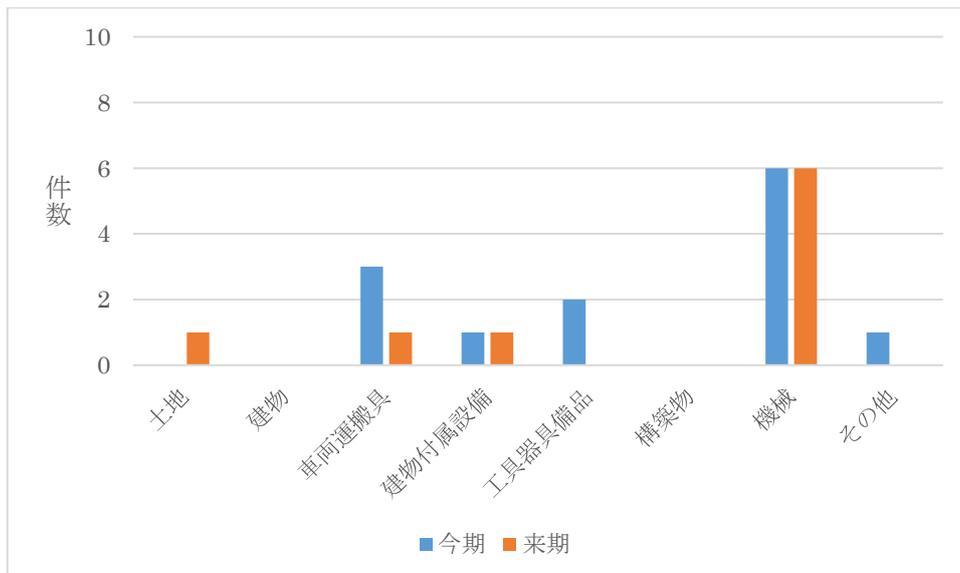
【設備投資調査】

前期（1～3月）設備投資をした企業は52.2%

今期（4～6月）設備投資をした企業は81.3%

来期（7～9月）設備投資を計画している企業は56.3%

設備投資をした（する）企業のうち投資内容は以下の通り。



《 建設業の景気動向 》

【主要 DI 調査】

主要 DI	前期実績 (1～3月)		今期実績 (4～6月)		来期予測 (7～9月)
業 況	▲25.0	↑	▲16.0	↑	▲4.0
売 上	▲30.0	↑	▲20.0	↑	16.0
採 算	▲35.0	→	▲36.0	↑	▲16.0
原 材 料	▲80.0	→	▲84.0	→	▲80.0
資金繰り	▲10.0	→	▲8.0	→	▲4.0
労働時間	▲15.0	↑	▲8.0	↑	16.0
雇用状況	40.0	→	44.0	↓	36.0

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印（↑・↓）で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印（→）で表示

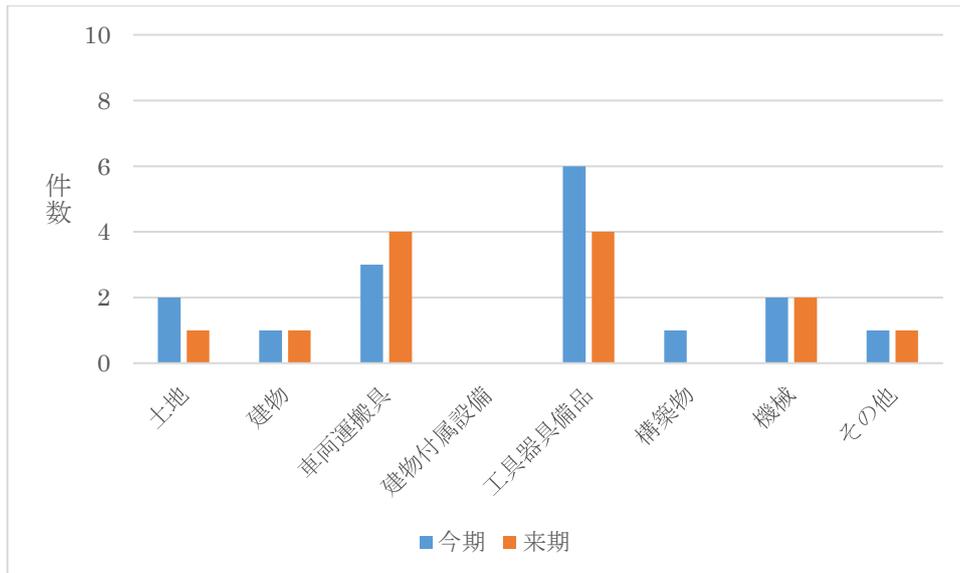
【設備投資調査】

前期（1～3月）設備投資をした企業は40.0%

今期（4～6月）設備投資をした企業は64.0%

来期（7～9月）設備投資を計画している企業は52.0%

設備投資をした（する）企業のうち投資内容は以下の通り。



《 卸・小売業の景気動向 》

【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (1～3月)		今期実績 (4～6月)		来期予測 (7～9月)
業況	▲38.5	↑	▲4.5	↓	▲13.6
売上	▲76.9	↑	▲4.5	→	▲9.1
採算	▲61.5	↑	▲31.8	↑	▲22.7
原材料	▲76.9	↓	▲95.5	↑	▲54.5
資金繰り	▲15.4	→	▲13.6	↓	▲22.7
労働時間	23.1	↓	4.5	→	4.5
雇用状況	7.7	↑	31.8	→	31.8

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印（↑・↓）で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印（→）で表示

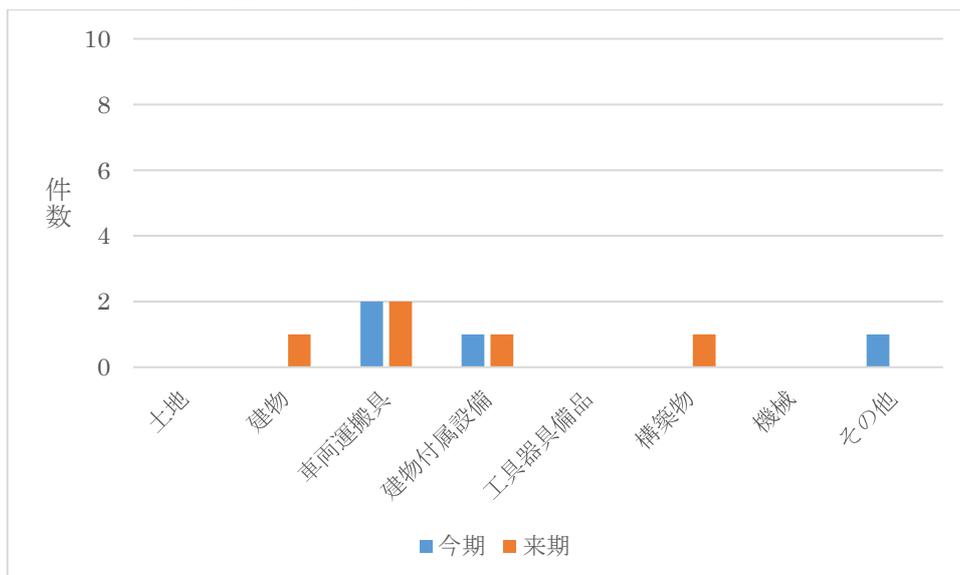
【設備投資調査】

前期（1～3月）設備投資をした企業は46.2%

今期（4～6月）設備投資をした企業は18.2%

来期（7～9月）設備投資を計画している企業は22.7%

設備投資をした（する）企業のうち投資内容は以下の通り。



《 飲食・宿泊業の景気動向 》

【主要 DI 調査】

主要 DI	前期実績 (1～3月)		今期実績 (4～6月)		来期予測 (7～9月)
業 況	11.8	↑	29.4	↓	23.5
売 上	23.5	↑	29.4	↓	17.6
採 算	▲23.5	↑	▲5.9	→	▲5.9
原 材 料	▲100.0	↑	▲94.1	↑	▲88.2
資金繰り	▲5.9	↑	0.0	→	0.0
労働時間	11.8	↑	17.6	↓	11.8
雇用状況	29.4	↓	11.8	↑	17.6

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印(↑・↓)で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印(→)で表示

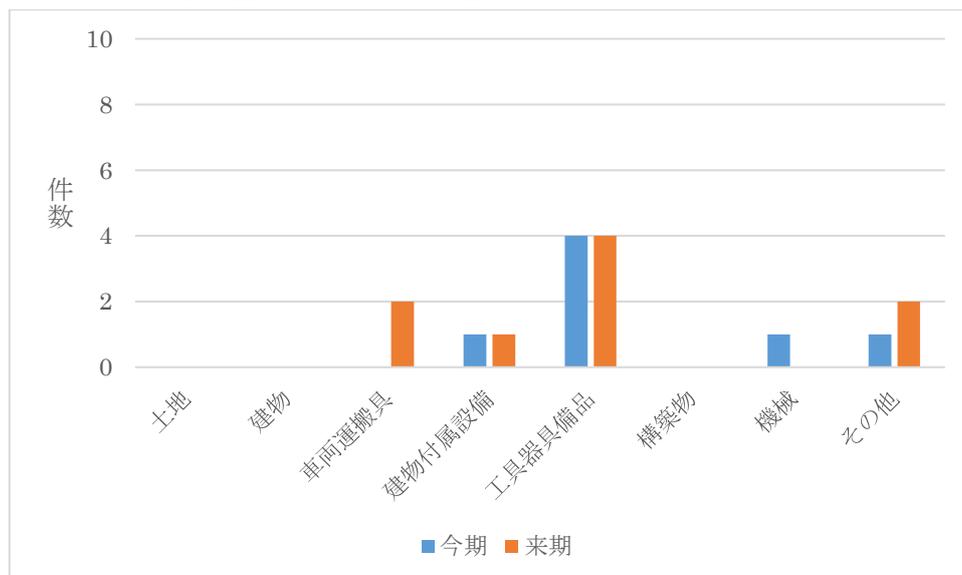
【設備投資調査】

前期(1～3月)設備投資をした企業は41.2%

今期(4～6月)設備投資をした企業は41.2%

来期(7～9月)設備投資を計画している企業は52.9%

設備投資をした(する)企業のうち投資内容は以下の通り。



《 その他サービス業の景気動向 》

運送・生活関連サービス・観光関連サービス・理美容・不動産・その他が含まれます

【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (1～3月)		今期実績 (4～6月)		来期予測 (7～9月)
業況	3.4	↑	20.0	↓	11.4
売上	6.9	↑	17.1	→	20.0
採算	▲6.9	→	▲8.6	↑	0.0
原材料	▲41.4	↓	▲65.7	→	▲68.6
資金繰り	▲3.4	→	▲5.7	↑	0.0
労働時間	0.0	→	0.0	→	0.0
雇用状況	13.8	↑	37.1	→	37.1

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印(↑・↓)で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印(→)で表示

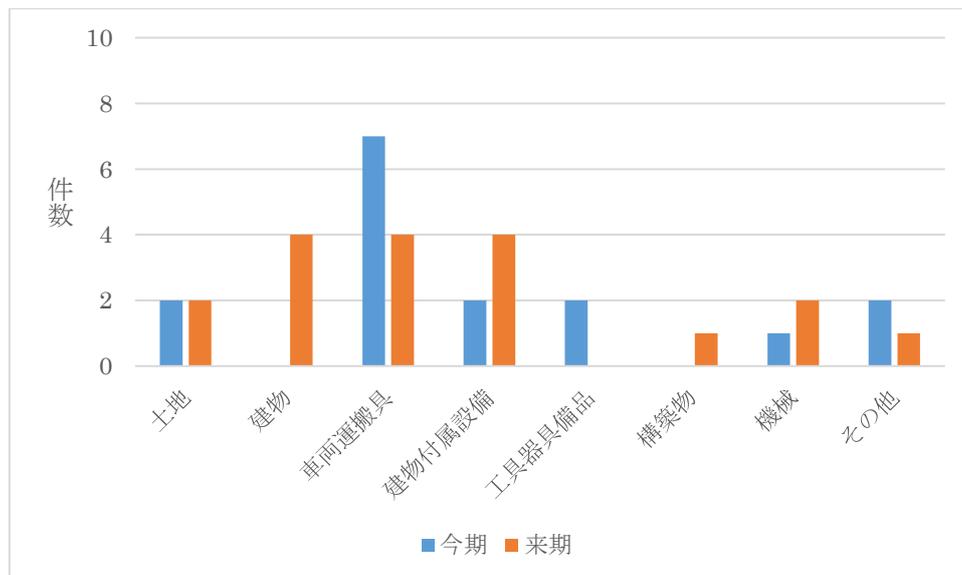
【設備投資調査】

前期(1～3月)設備投資をした企業は37.9%

今期(4～6月)設備投資をした企業は45.7%

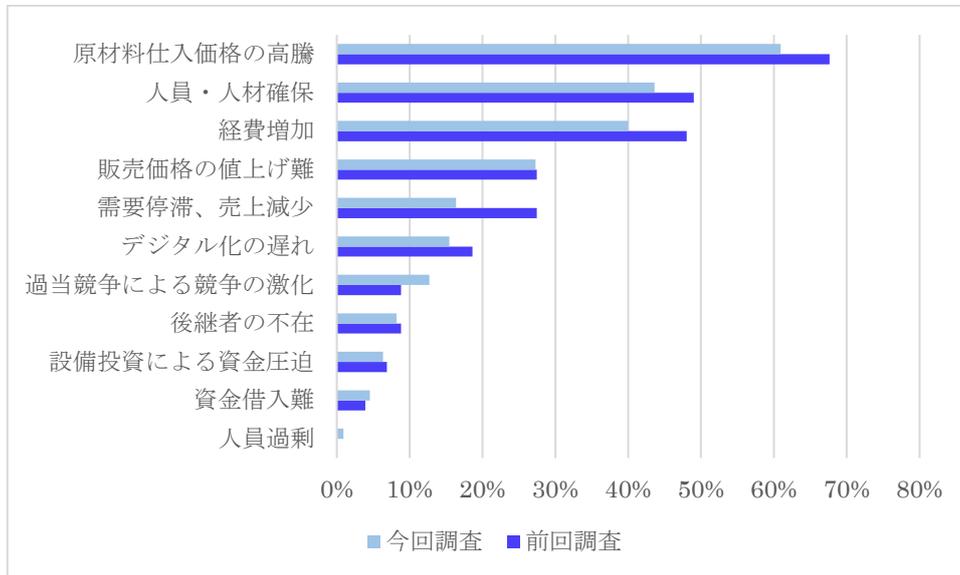
来期(7～9月)設備投資を計画している企業は51.4%

設備投資をした(する)企業のうち投資内容は以下の通り。



《 全体の経営上の問題点 》

今回の調査でも、経営上直面している問題点で多かったのは、『原材料仕入価格の高騰（60.9%）』、次に『人員・人材確保（43.6%）』が多い結果となりました。



《 業種別の経営上の問題点 》

すべての業種において『原材料仕入価格の高騰』が一番多く、サービス業では、『原材料仕入価格の高騰』、『経費増加』、『人員・人材確保』が同数1位となりました。

	製造業	建設業	卸・小売業	飲食・宿泊業	サービス業
1位	原材料仕入価格の高騰	原材料仕入価格の高騰	原材料仕入価格の高騰	原材料仕入価格の高騰	原材料仕入価格の高騰
2位	人員・人材確保	人員・人材確保	経費増加	経費増加	経費増加
3位	経費増加 販売価格の値上げ難 後継者の不在	経費増加 デジタル化の遅れ	人員・人材確保	販売価格の値上げ難	人員・人材確保

《 観光関連の景況 》

観光に直接的に関わる業種及び企業を抜粋し調査しました。

対象事業者

市内の宿泊業、市内の観光関連業、市内の運送業、清水町・幸町周辺の飲食業、
新千歳空港及び周辺の観光関連事業者、支笏湖・モーラップ地区の事業者

景気動向

主要DI	前期実績 (1～3月)		今期実績 (4～6月)		来期予測 (7～9月)
業況	20.8	↑	35.3	↓	29.4
売上	33.3	↑	41.2	↑	47.1
採算	▲4.2	↑	17.6	↓	5.9
原材料	▲83.3	→	▲88.2	→	▲88.2
資金繰り	▲8.3	↑	0.0	↓	▲5.9
労働時間	16.7	→	17.6	→	17.6
雇用状況	▲33.3	→	▲35.3	→	▲35.3

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印(↑・↓)で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印(→)で表示

《 企業の声 》

2023年10月よりインボイス制度が施行、2024年1月からは2022年の法改正によって電子帳簿保存法が義務化（2024年以降も猶予措置あり）されます。

これらの制度について、すでに対応済みという企業もありますが、対応するために準備や業務の工程が増え、負担が増加している、人手が足りないという回答が寄せられました。

また、未だ制度を理解しておらず対応できていないという企業も多くありますが、制度理解をしていない企業との取引に苦難しているという企業もありました。

厚生労働省が発表した有効求人倍率をみると、千歳市は4か月連続で1倍を下回っており、求人数よりも求職者数の方が多い結果となっています。

しかし、これまでのアンケートに引き続き、人手不足に悩む回答は多く、他にも定着率が低く人材育成に悩む回答も多く寄せられています。

全体の景気動向指数をみると、今期実績は上向きの企業が多くみられます。特に製造業は、調査したすべての項目で上向きとなりました。

しかし、全体的に来期予測は下向きであり、景気の後退が予測されます。

今後は千歳市に新たな工場が進出し、千歳の景気が活性化していくことに期待しているという、プラスの意見も寄せられています。

本調査にご協力いただきました企業の皆様、ありがとうございました。

次回調査は令和5年10月頃です。引き続きご協力の程よろしく願いいたします。